

# 一年学年だより

No. 1

4月号

平成29年4月17日発行

1年学年主任

## 手間暇かけた分だけ…

我が家には、ちょっとした家庭菜園がある。先日亡くなった父親が定年退職後、趣味で始めたものであったが、その父親が約10年前から車いすでの生活となり、知らない間に私が管理するようになった。これから夏野菜の植え付けが始まる。

はじめの頃は、種をまき、水をやるくらいの関わり方で面倒に感じることも多かったが、収穫期を一度経験すると、うまくいかなかった経験や、おいしく野菜を食べられた喜びなどから、少しずつ、菜園をのぞく時間が増えていくようになった。数年間の経験から、苗を密植した状態から、少数の苗を残して残りを抜くことや、新しく伸びた芽を、適度に除去することなども覚え、今では、野菜作りに楽しみを感じるようになった。少し早めに起床して、野菜に水をやり、雑草を抜く。自分が若い頃には想像もできなかったことをこの年齢になって行っている。何より自分が作った野菜を、収穫してすぐ新鮮な状態のまま、自分の家族が食べるという喜びは格別である。最近は少しさぼり気味ではあるが……。

不思議なもので、雑草抜きやかたくなった地表を少しだけほぐすなどのちょっとした配慮をこまめに行うと野菜の発育はそれに応じて素直によくなる。肥料も与えれば与えるだけいいというものではなく、タイミングよく適量で、がポイントのようだ。また、同じ場所で同じ野菜を育てるとうまくいかないものもあり、今年はここにこれを植えて……、などと考えていくこともまた楽しい。このように野菜がすくすくと育つ姿を見ながら、また、収穫できることを楽しみにしながら、ただ単に、植えて、肥料をやって、水をやってだけでなく、手間暇かけて野菜と向き合うと、驚くほど野菜作りはうまくいく。まだまだ失敗を繰り返してはいるが、まだまだ手間暇かけていないからであろうと感じている。

中央高校31期生のみなさん、入学おめでとう。みなさんに期待すること、それは集団研修でも話したとおり、「はやく中央生になること」、「大人の階段を上ること」、「自分探しの旅を進めること」です。高校生らしい責任ある行動をとること。勉強や部活動で額に汗しながら、目標実現のためがんばること。新しい友達と共に笑い、共に泣き、共に悩んで、仲間と共に困難を越えていく。いかに高校生活に対して手間暇かけてやっていけるかが大切です。水をまくのも、雑草を抜くのも、肥料を与えるのも自分自身です。ただ、ひとりぼっちではありません。君たちの手間暇かける姿を見守ってくれているたくさんの人々、ともに手間暇かけてくれるたくさんの人々がいることも忘れないでください。君たちの周りにいる君たちを支えてくれている人々に対して感謝の気持ちを忘れずに。君たちにいただけるたくさんのアドバイスを謙虚な気持ちで受けとめて。自分の将来に大きく影響を与えるこの3年間を、どうか有意義なものにしてください。君たちの健闘を祈ります。